

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	車両運行前点検時での事故
3. 体験した事例の中心的要素	車両運行前点検時，2名でタイヤナットの緩みの確認及び締め付け作業中，レンチと締め付けのトルクを上げるために被せた鉄パイプの中に指が挟まれた状態になり，それに気付かず体重をかけられたため負傷した。
4. 体験した事例の原因・理由	危険意識の欠陥，連携が不十分

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 18年 5月 9日	午前 9時頃
2. 発生した当時の天候	曇	
3. 発生した活動現場	屋内：車庫内	
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）		
7. 事例体験時の活動	その他： []	
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：車両運行前点検時	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[32]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防副士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[43]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A及びB	タイヤナットの緩み確認及び締め付け作業開始	
経過2	当事者A	レンチ及びパイプの押さえ担当	
経過3	当事者B	締め付け担当	
経過4	当事者A	レンチとパイプの間に指先が入る	
経過5	当事者B	気付かずに体重をかける	
経過6	当事者A	指先負傷	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

活動中に起こりうる危険について認知し、一つの事ばかりに集中しないようにし、常に他にも注意を払う。

○装備・資機材の対策について

今回はパイプが太く、指等が入る隙間が開いていたので、径の細いものを使用するようにした。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

安全監視員をつけ、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行う。